

千葉県は交通事故での死傷者が大変多いそうですが、どうしてかなと考えてみました。

ぼく達は交通安全教室の時警察の方や指導員の

登下校の時見かける車は、ものすごいスピードを出している車。信号無視の車、歩行者に水しぶきをかけています。も平気な車、横断している人を待っている車の後ろか

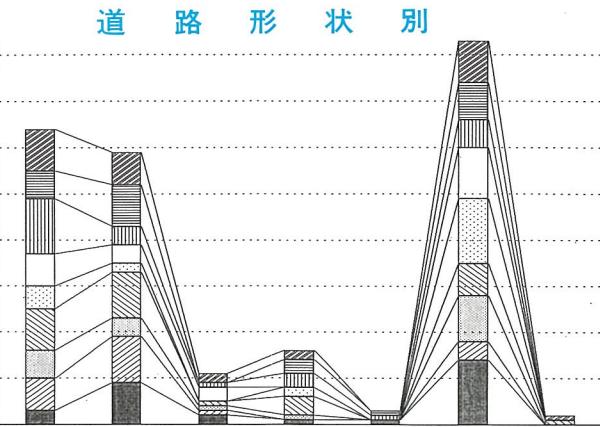
## ドライバーは知つてゐるのに守らない



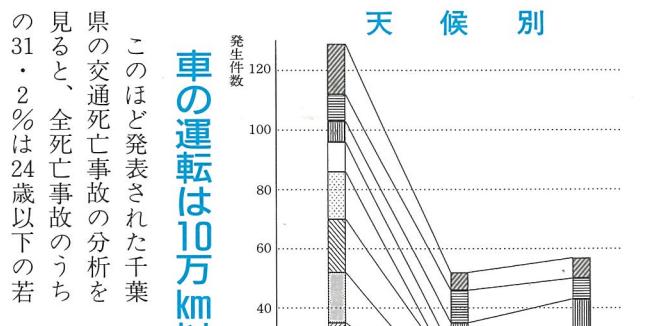
日吉小6年 花澤 昭宏

方からいろいろ教えてもらつてそれを守っています。ドライバーの人たちはめんきよを取る時勉強して知つているのに守っていないではないでしようか。

ら来て、ものすごいスピードで通りぬけようと車などを見かけます。ぼく達歩行者も交通ルールを守らなければなりませんがドライバーの人



	交差点(小)	交差点(中)	交差点付近	カーブ	橋	直線	その他
1月	3	9	2	1	1	14	0
2月	7	10	1	0	0	4	0
3月	6	4	1	1	0	10	0
4月	9	10	1	4	0	7	1
5月	5	2	0	2	0	14	0
6月	7	4	3	0	0	11	0
7月	12	4	1	3	1	6	0
8月	6	9	0	3	1	8	0
9月	9	7	2	2	0	9	1
合計	64	59	11	16	3	83	2



	晴	曇	雨
1月	20	5	5
2月	15	3	4
3月	17	2	3
4月	18	9	5
5月	16	0	7
6月	10	7	8
7月	7	9	11
8月	9	11	7
9月	17	6	7
合計	129	52	57

あるということです。車の運転は10万km以上を走っています。ようやく一人前といわれています。いろいろな交通場面を体験して初めて危険回避の方法や安全な走り方を知ることができます。

それなのに目立つ走り方をすることがカッコいい走りと勘違いして右に左に車線を変えて追い抜きをしたり、タイヤをきしませて交差点を曲がったりしています。こうした運転で、事故を起こさないのは他のドライバーの良心的な運転行為に守られているからなので

何事もそうですが、見た目のハデさよりも、地道な鍛錬の積み重ねが重要なことです。車は運動神経のよさとか、敏しょ性だけで動かすものではないのです。道を

単なる道としてとらえるのではなく「公道」として見る良識、他を思いやる心などが加わって初めて万全な走りになるのです。抱いている大きな夢を、未来につなげてゆくために、車なんぞで死んではならないのであります。

## 児童が正しく判断し行動できるように



日吉小 高橋 聰 教諭

本校では、平成4・5年度の2カ年にわたり、学校安全の研究実践を推進してきました。安全指導の中には「交通・生活・災害」があり、どの分野も大変重要であります。

今日の児童を取りまく環境は、大変厳しいものがあります。一歩気を緩めてしまふと大変な事故につながることも予測されます。

そこで、本校では災害時における避難の仕方等を意図的・計画的に実施し、児童が安全に行動できるようになります。

保護者へ学校だより・学年だより等を通して安全についての意識の啓蒙を行っています。